



はじめに

ここでは、『*Cisco Wide Area Application Services Command Reference*』の対象読者、マニュアルの構成、および手順や情報を記述するための表記法について説明します。具体的な内容は、次のとおりです。

- [対象読者 \(p.xii\)](#)
- [マニュアルの構成 \(p.xiii\)](#)
- [表記法 \(p.xiv\)](#)
- [関連資料 \(p.xv\)](#)
- [マニュアルの入手方法および Service Request ツールの使用方法 \(p.xv\)](#)

対象読者

このコマンド リファレンスは、Wide Area Application Services (WAAS) ソフトウェアの Command-Line Interface (CLI; コマンドラインインターフェイス) を使用して WAAS デバイスをデバイスごとに設定、管理、および監視する管理者の方々を対象としています。このリファレンスは、WAAS デバイスで既に WAAS ソフトウェアが稼働していることを前提にしています。このリファレンスでは、WAAS CLI コマンドについて説明し、それぞれの構文を示します。

WAAS CLI では、コンソール接続またはターミナル エミュレーション プログラムを使用して、WAAS デバイスをデバイスごとに設定、管理、および監視できます。また、WAAS CLI を使用して、WAAS CLI でのみサポートされる特定の機能（たとえば、WAE への LDAP 署名の設定）を設定することもできます。

このリファレンスでは、WAAS CLI を使用して個々の WAAS デバイスに設定可能な機能についてのみ、手順と例を挙げ説明しています。

WAAS CLI 以外にも、ブラウザからアクセスできる 3 つの WAAS Graphical User Interface (GUI; グラフィカル ユーザ インターフェイス) があります。

- WAAS Central Manager GUI を使用すると、WAAS Central Manager に登録されている WAE または WAE のグループを中央で設定、管理、および監視できます。また、この GUI を使用して、WAAS Central Manager GUI が稼働する専用アプライアンスである WAAS Central Manager を設定、管理、および監視することもできます。



(注)

WAAS Central Manager GUI を使用すると、WAE グループ (デバイス グループ) の設定値とポリシーを中央で設定する機能が追加されます。WAAS CLI を使用している場合は、デバイス単位でしか設定値とポリシーを設定できません。

- WAE Device Manager GUI を使用すると、ブラウザを介して個々の WAE をリモートで設定、管理、および監視できます。通常は、WAE Device Manager GUI と WAAS Central Manager GUI のどちらでも、同一のデバイス設定値を確認できます。このため、可能な場合は、常に WAAS Central Manager GUI から WAE を設定することを推奨します。
- WAAS Print Services Administration GUI を使用すると、個々の WAAS プリント サーバをリモートで設定し、アクティブなプリント ジョブと完了したプリント ジョブのリストを表示できます。WAAS Print Services Administration GUI には、WAAS Central Manager GUI または WAE Device Manager GUI のどちらからでもアクセスできます。

WAAS GUI は、WAE を設定および監視するための主要なリソースです。可能な場合は、WAAS CLI の代わりに WAAS Central Manager GUI を使用することを推奨します。WAAS GUI を使用して、WAAS デバイスを設定、管理、および監視する方法の詳細については、『Cisco Wide Area Application Services Configuration Guide』を参照してください。

インターネットワーキング、ネットワーク トポロジ、およびネットワーク内のデバイスが使用可能なプロトコルに関する基本的なコンセプトと用語について理解しておくことを推奨します。また、Microsoft Windows、Linux、Solaris などの WAAS ネットワークを稼働するオペレーティング システムの実践的な知識を習得しておくことも大切です。このマニュアルはチュートリアルではありません。

マニュアルの構成

このコマンドリファレンスの構成は、次のとおりです。

章	説明
第1章「WAAS コマンドライン インターフェイスの使用方法」	コマンドラインインターフェイスの使用方法について説明します。
第2章「Cisco WAAS ソフトウェア コマンド一覧」	WAAS ソフトウェア コマンドを一覧表示し、それぞれについて簡潔に説明します。
第3章「CLI コマンド」	WAAS ソフトウェアの次のタイプの CLI コマンドについて詳しく説明します。 <ul style="list-style-type: none">• WAAS デバイスへのログイン後に入力可能なコマンド (EXEC モード)• WAAS デバイスにログインし、コンフィギュレーションモードおよびそのサブモードにアクセスしたあとに入力可能なコンフィギュレーションモードコマンド コマンドごとに次について説明します。 <ul style="list-style-type: none">• コマンドの構文• 関連コマンド (適用可能な場合)
付録 A 「略語および短縮形」	このマニュアルで使用されている略語を定義します。
「モード別 CLI コマンド一覧」	コマンドモードごとに各コマンドを一覧表示します。

表記法

このコマンドリファレンスでは、次の基本的な表記法でテキストと表の情報を示します。

表記	説明
太字	コマンド、キーワード、およびボタン名は 太字 で示しています。
イタリック体	ユーザが値を指定する変数は、 <i>イタリック体</i> で示しています。ディレクトリ名とファイル名もイタリック体で示しています。
screen フォント	システムが表示するターミナルセッションおよび情報は、screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、 太字 の screen フォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが入力する変数は、 <i>イタリック体</i> の screen フォントで示しています。
プレーンテキスト	リストされているオプションのうちのいずれか 1 つを構文に入力します。
^D または Ctrl-D	Ctrl キーを押しながら D キーを押します。
ストリング	引用符を付けない一組の文字として定義されます。 たとえば、SNMP のコミュニティ ストリングとして「public」を設定する場合、ストリングの前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めてストリングとみなされます。
縦棒 ()	縦棒は選択要素を区切ります。
{ }	波カッコ内の要素は、必須の要素です。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{x y z}	必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[{ }]	角カッコの中の波カッコは、省略可能な要素の中の必須選択肢を示しています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

関連資料

Cisco WAAS ソフトウェアの詳細については、次の資料を参照してください。

- 『*Release Note for Cisco Wide Area Application Services*』
- 『*Cisco Wide Area Application Services Configuration Guide*』
- 『*Cisco Wide Area Application Services Quick Configuration Guide*』
- 『*Cisco Wide Area Application Services Command Reference*』 (このマニュアル)
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Content Networking Product Series*』
- 『*Cisco Wide Area Application Engine 511 and 611 Hardware Installation Guide*』
- 『*Cisco Wide Area Application Engine 512 and 612 Hardware Installation Guide*』
- 『*Cisco Wide Area Application Engine 7326 Hardware Installation Guide*』
- 『*Cisco Wide Area Application Engine 7341, 7371, and 674 Hardware Installation Guide*』
- 『*Cisco Network Modules Hardware Installation Guide*』
- 『*Using the Print Utilities to Troubleshoot and Fix Samba Driver Installation Problems*』

ここでは、シスコ製品のマニュアルを入手する方法について説明します。

マニュアルの入手方法および Service Request ツールの使用方法

マニュアルの入手方法、Service Request の使用方法、および追加情報の収集方法については、次の URL で毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。『*What's New in Cisco Product Documentation*』は、新規および改訂版のシスコ技術マニュアルのリストも示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

Really Simple Syndication (RSS) フィードとして『*What's New in Cisco Product Documentation*』に登録し、リーダアプリケーションを使用して、コンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定します。RSS フィードは無料サービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。

Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register/>

